

■明治天皇 122代天皇。〈明治維新〉の神輿となり、日本近代国家形成に主権者として君臨した。

めいじてんのう

万次郎帰国・1852= 京都の中山邸で、権大納言中山忠能の女慶子を母に、\_孝明天皇の皇子に生まれる。

ペリー来航・1853= 1歳：

桜田門外変・1860= 8歳：\_立太子。

遣欧使節・1861= 9歳：

薩長同盟・1866=14歳：\_孝明天皇の急逝にともない、

大政奉還・1867=15歳：\*踐祚し、関白二条斉敬が摂政となる。幕末の激動に対処して将軍徳川慶喜の大政奉還を勅許し、他方、薩摩、長州両藩主に対して討幕の密勅を下した。王政復古の大号令によって旧来の政治制度を一新。

明治維新・1868=16歳：この年、一条美子(昭憲皇太后)と結婚。\*戊辰戦争に征討軍を派遣して旧幕勢力を制圧した。その間に五ヶ条の誓文を發布して新政府の基本方針を宣言するとともに政体書によって新しい政治体制を採用、また“明治”と改元、一世一元の制を定めた。

戊辰戦争終・1869=17歳：東京に遷都、さらに版籍奉還の上表を勅許し、

初の日刊新聞1870=18歳：

廃藩置県・1871=19歳：廃藩置県を断行して中央集権体制の基礎を築いた。大教宣布の詔を出して神道の国教化をはかり、同時に天皇の絶対化が試みられた。とくに藩閥政府内の矛盾が表面化した征韓論をめぐる政争では、内治優先の勅裁を下し、

明治6年政変 1873=21歳：

初の民間工場1875=23歳：木戸孝允、板垣退助の政府復帰の条件として漸次立憲制を採用するとの詔を発して政体改革の方向を明らかにした。

大久保暗殺・1878=26歳：参謀本部を創設、

琉球処分・1879=27歳：

明治14年政変1881=29歳：自由民権運動の高まりに対し、詔勅をもって国会開設の期日を約束して運動の鎮静化をはかり、同時に欽定憲法主義と天皇大権の確立を基本方針とする憲法制定の原則を定め、それに対応する制度的整備に着手。

新体詩抄・1882=30歳：軍人勅諭によって統帥権の独立を確保し、軍隊を天皇の軍隊として位置づけ、以後、対清戦争を想定した軍備の増強に努めた。

\_議会開設を前に内閣制の創設、府県制・郡制・市制・町村制を制定するなど、地域末端までの官僚支配の体系を整え、他方、莫大な皇室財産を確保して皇室自律主義を貫いた。

初の対等条約1888=36歳：

帝国憲法発布1889=37歳：\*大日本帝国憲法を発布、天皇主権を明示するとともに、広範な天皇大権を保障し、

帝国議会始・1890=38歳：\_教育勅語を換発して国民教化の理念を定めた。議会開設後は、政府と議会の対立が先鋭化するとしばしば詔勅によって政争を取捨し、

日清戦争始・1894=42歳：\_日清戦争、

八幡製鉄始・1897=45歳：

日露戦争始・1904=52歳：\_日露戦争に際しては、みずから大本営において戦争指導に当たる。

日露戦争終・1905=53歳：

満鉄発足・1906=54歳：

韓国併合・1910=58歳：韓国併合に臨んで韓国王室を優待して併合の実をあげようと努めたが、\_このころから糖尿病による身体の衰えがめだつようになり、

明治天皇没・1912=60歳：\_没した。

歌人としても知られ、9万3032首の詠作を遺した。